

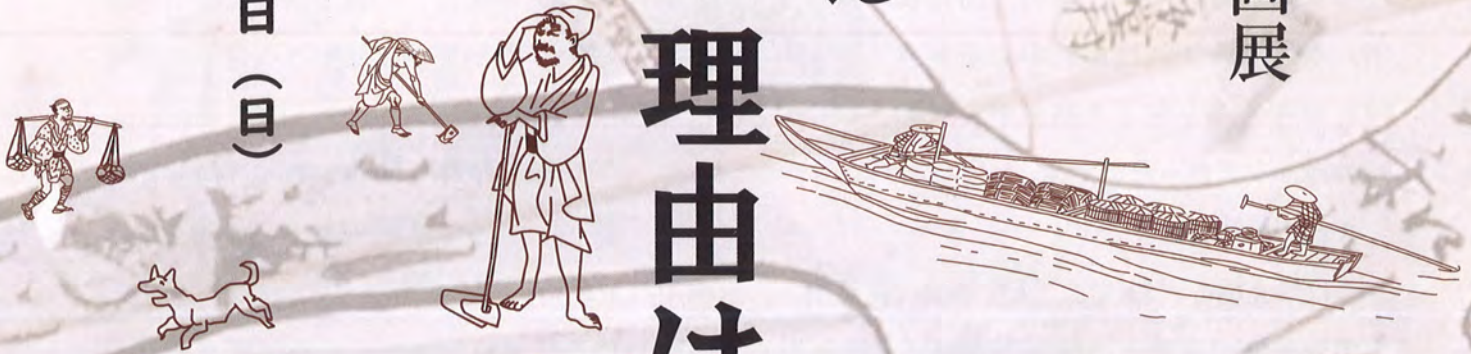
令和四年度 秋季企画展

大和川のつけかえ

ほんとうの理由は？

9月13日(火) ～ 12月4日(日)

入館無料



### 開館30周年記念シンポジウム

11月6日(日) 13:30～16:00

- 「30年を振り返って」安村俊史(当館館長)
- 「謎の竹原井離宮を探し求めて」塚口義信氏  
(堺女子短期大学名誉学長・名誉教授)
- 学芸員を交えて対談

### 文化財講演会

10月29日(土) 13:30～15:00

「大和川のつけかえ ほんとうの理由は？」  
安村俊史(当館館長)

< 共通事項 > 事前申込・参加費 200 円・当館 3 階研修室・定員 80 名(定員を超える場合は抽選)

申込方法: Eメールか往復はがきで ① 〇月〇日開催 講演会名 ② 氏名(ふりがな) ③ 住所 ④ 電話番号 を明記の上お申し込みください。

- 申込先 Eメール: rekishi@city.kashiwara.lg.jp \*件名は「〇月〇日の講演会申込」、本文に①～④を入力  
往復はがき:〒582-0015 柏原市高井田 1598-1 柏原市立歴史資料館 \*往信面に①～④、返信宛名面に申込者の住所・氏名を明記
- 応募締切・開館30周年記念シンポジウム…10月27日(木) 必着・文化財講演会…10月19日(水) 必着
- \*メール・はがき1通につき1名でひとつの講演会にお申し込みください。\*抽選結果は返信メールまたは復信はがきでお知らせします。\*当館窓口での応募はできません。

### 史跡高井田横穴特別公開

10月15日(土) 10:00～15:00 史跡 高井田横穴公園  
学芸員によるガイドツアー 10時、11時、13時、14時  
定員 各回20名(申込不要 先着順) 参加費 無料

### 館長と学ぶ河内の古道講座

9月24日(土) 11月26日(土) 12月24日(土)  
各回 13:30～15:00(13時より受付) 当館3階研修室  
定員 各回80名(申込不要 先着順) 参加費 200円

# 柏原市立歴史資料館

開館状況やイベントの内容は  
変更となる場合があります。  
くわしくは歴史資料館  
ホームページをご覧ください。

月曜休館(祝日は開館) 入館無料

9:30～17:00 (入館は16:30まで)

大阪府柏原市高井田1598-1

☒ rekishi@city.kashiwara.lg.jp

☎ 072-976-3430

JR 大和路線高井田駅から徒歩約6分 近鉄大阪線河内国分駅から徒歩約15分



ホームページ

おおさかへいや こうずい  
大阪平野になんども洪水をおこし  
ていた大和川は、ほうえいがんねん (1704)  
につけかえられることになりました。  
北へと流れていた川を、西へと流れる  
ようにしたのです。

それでは、どうしてつけかえられる  
ことになったのでしょうか。なんども  
洪水を起こしていたからというの  
はまちがいありませんが、それだけ  
ではなかったのです。幕府（国の役  
所）が、どうすれば幕府がお金もう  
けをできるかと考えた結果が、大和  
川のつけかえだったのです。



つけかえ前の大和川

### 大和川のつけかえ

つけかえ前の大和川は、きゅうほうじがわ (ながせがわ) たまくしがわ (ひらのがわ)  
久宝寺川 (長瀬川)、玉櫛川 (玉串川)、平野川などに分かれて流れ、  
大阪城の北で、もとの淀川 (大川) に流れこんでいました。しかし、なだらかな平野を流れて  
いるため、大雨が降るとすぐに洪水をおこしていました。

やがて洪水に苦しむ人たちから大和川をつけかえてほしいという願いが出されるようになり  
ました。そこで幕府はつけかえが必要かどうか、なんども考えましたが、いつもつけかえは必  
要ないという結論を出していました。つけかえにたくさんのお金がいること、工事をするのが  
むずかしいことだけでなく、つけかえに反対する人たちがたくさんいたことも理由のひとつだ  
と考えられます。新しい川ができるとこまる人たちが、つけかえに反対したのです。そのため  
幕府は、天和3年 (1683) につけかえはしないとはっきり決めました。

貞享4年 (1687) にもつけかえをお願いする文章が幕府に出されましたが、つけかえはしな  
いというきびしい答えがかえってきたようです。それからつけかえをお願いする文章が出され  
ることはなくなり、大和川の流れが少しでもよくなるような工事をしてほしいというお願いに  
変わります。そして、そのお願いに参加する人たちもどんどん少なくなっていきました。

みんながつけかえをすっかりあきらめたころに、幕府は急につけかえることを決めました。  
つけかえると洪水がなくなるだけでなく、幕府にたくさんお金が入ってくる方法があるとわか  
ったからです。

つけかえ後、もとの大和川は新田として開かれ、そこには綿をたくさん植えていました。綿  
からつくられた布は、河内木綿として各地に売られました。洪水がなくなって喜んだことでし  
ょう。しかし、新しい大和川の近くの人たちには、苦しい生活が待っていました。

## 大和川のつけかえ ほんとうの理由は？

大和川つけかえの理由は、洪水で苦しむ大和川周辺の村々がつけかえを求める運動をくりかえし、中甚兵衛を中心に運動が大きくなり、幕府もつけかえることに決めたと考えられています。しかし、つけかえを求める運動はつけかえの17年前に終わり、川の工事を求める運動になっていたことがわかっています。また、運動に参加する村の数も、7分の1くらいに減っていました。それなのに、幕府は急につけかえることに決めたのです。どうして幕府はつけかえることにしたのでしょうか。ここでは、七つの理由をあげてみたいと思います。

- ①いくら工事をしても洪水がなくならなかった。
- ②万年長十郎が幕府の役人になった。
- ③河村瑞賢が死んだ。
- ④工事を求める運動が続けられていた。
- ⑤つけかえ後にもとの大和川が新田に開発された。
- ⑥つけかえ工事に大名を参加させた。
- ⑦むだのない工事をおこなった。

つけかえ工事は、川の底をできるだけ掘らず、掘った土と堤防に必要な土の量をできるだけ同じにするなど、むだのない方法でおこなわれました（理由⑦）。この工事で幕府が必要としたお金は約 37,500 両で、それ以外の 34,000 両ほどは工事を手伝わされた大名がはらいました（理由⑥）。そして、もとの大和川を新田にするために幕府に入ってきたお金がおよそ 37,000 両でした。新田開発をするためには、幕府にお金をはらわなければならなかったのです（理由⑤）。つまり、幕府が工事で使ったお金のほとんどが新田開発でもどってきたのです。

つけかえ工事のあと新しくできた新田は、新大和川をつくるためにつぶれた田畑の4倍の面積になりました。新しい新田からは、幕府に年貢がおさめられます。幕府は、つけかえ工事をすることによって、幕府にお金が入ってくる方法を考え出したのです。この方法を考え出したのは、万年長十郎だったと考えられます（理由②）。つけかえに強く反対していた河村瑞賢が死んだので、進めやすかったことでしょう（理由③）。しかし、万年長十郎がこのような方法を考え出したのは、いくら工事をしても洪水がなくなるしないこと（理由①）や、小さくなったとはいえ運動が続けられていたこと（理由④）も大きかったでしょう。中甚兵衛は、この運動の中心となっていて、万年長十郎ともなにも話をしていたようです。

こうして、幕府はたくさんのお金が必要となるはずの大和川つけかえ工事を、お金が入ってくる工事としておこなうことができました。新田開発を進めたい町人や中甚兵衛らと相談しながら、万年長十郎の考えで進められた工事だったのです。これが大和川つけかえ工事がおこなわれることになったほんとうの理由なのです。



やまがわつけかえせつかえす  
大和川附換河絵図 (中家文書・柏原市指定文化財)

つけかえ前の大和川の流れの絵図に、新大和川の流れが描きこまれています。